


2年生見学旅行

先週11日(金)は、2年生の見学旅行でした。熊本駅や熊本城ミュージアムわくわく座、そして熊本城などを見学しました。今回の見学旅行では、公共施設の仕組みや働く人々について質問したり調べたりしました。駅では子供たちもたくさん質問し、自分なりの課題を解決したようです。熊本駅での子供たちの感想です。「たくさんの方がいて、列車や新幹線で移動していることがわかりました。」「新幹線はたくさんの方が乗ることができて、しかも速くて便利です。」など、学んだ感想をロ々に述べていました。



次に見学したわくわく座では、熊本城バーチャル映像を使った熊本城の説明がありました。スタッフの方が丁寧に熊本城について教えてくださいました。

また、熊本城を見学した子供たちは、「熊本城は、きれいなお城で『 帯西ブルー』の心を感じました。(天守閣では)見晴らしがよくて、たくさんビルが見えて気持ちよかったです。」「昔は、たくさんの方が、このお城で、戦いに備えていたことがわかりました。」「武者返しを見ることができて、よかった。武者返しは、反り返っていて、登るのは大変だと思いました。これは忍者でもきつい壁だと思う。」など感想を述べ、見学旅行を振り返っていました。今回の見学旅行も子供たちにとって充実した学びとなりました。

帯山西校区体育祭

三連休の中日の13日(日)は、校区の体育祭が開催されました。去年は、雨のため延期となりましたが、今年はその不安も吹き飛ばすかのような秋晴れが空いっぱいに広がりました。本校からも子供たちが180人以上も参加し、「運だめし」や「パン食い競争」「町内対抗リレー」に出場していました。特に「パン食い競争」は、多数の子供たちが参加し、おいしそうなメロンパンに向かって、疾走していました。昨年度は、手で取って走る子供の姿が多かったのですが、今年度は昨年度の反省点が生きていて、口でパンを取る子供たちが多く、ルール説明が浸透していることを感じました。



今回の体育祭は、帯山西校区スポーツ協会が主催され、準備から運営まで、的確なリーダーシップの下で開催していただき感謝しています。私が来賓挨拶で話した、「子供は学校で学び、家庭で育ち、地域で成長する」という内容の通り、子供たちは地域の方々の後ろ姿を見えています。地域行事は、帯西校区の未来を創ることに繋がると言っても過言ではないと思います。

参加していただいた皆さん、尽力していただいた子供会、主宰していただいたスポーツ協会の方々に感謝します。

なお、体育祭の終盤に、参加された方が意識を失われて倒れられましたが、周りの方々の手際のよい連携と、初動の適切な救命法によって無事に生還されました。

ここにも校区の底力を垣間見ることができました。ご協力に改めて感謝します。